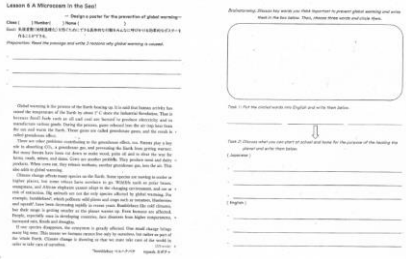


(別紙様式)

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立和気閑谷高等学校		
実践者等	松嶋 恭子	実践日	令和3年11月17日
実践場面（教科・科目、学校行事等）	外国語科（英語）・コミュニケーション英語Ⅱ、		
対象生徒（学年等）	2年生		
単元名 （教科・科目の場合のみ）	Lesson 6 A Microcosm in the Sea オーストラリアの世界自然遺産、グレートバリアリーフで起きているサンゴの白化現象を扱った単元		
使用したアプリ等	Document, Google Slide, Keynote、YouTube		
実践の概要（ねらい等）	<p>（生物との教科横断授業）</p> <p>環境破壊の進むグレートバリアリーフの現状を、Lesson 6を通して理解した上で、気候変動に注意を向けさせる。単元の終わりに生徒たち自身が取り組むことのできる “Small Actions” を英語で表現させ、ポスターを作成する。</p>		
実践の内容			
<p>（1）本時の目標</p> <p>地球温暖化を止めるために、私たちができる “Small Actions” を英語で表現できる。</p> <p>（2）前時までの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Lesson 6 Part1～3 グレートバリアリーフのサンゴの死滅の危機について学習。 ● 10月第3週に生物基礎の授業内でサンゴの生態や白化現象について詳細を学習。 <p style="text-align: right;">教科横断協力者：生物 福田幸彦教諭</p> <p>（2）本時の内容（学習の手順）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. YouTube でグレタ・トゥーンベリさんの COP24 でのスピーチを視聴し、グループごとにスピーチ内容を発表。 2. グレタさんのスピーチから Small Actions について想起させる。 3. 地球温暖化（気候変動）引き起こす理由とその結果について、教員が用意した英文から読み取らせ、COP26 と、脱炭素社会について説明。 4. キーワードをグループで考えさせ、好きなものを3つ選ぶ（e. g. 照明、交通）。 5. 自分たちができる “Small Actions” につなげて、できることを英語で表現する。 			
			
参考となる HP 等			

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。）